

副市長就任にあたり ～下妻市の地域力を高めるために～

下妻市副市長 齋藤 章



平成三十一年第一回市議会定例会での同意をいただき、四月一日付けで副市長に就任いたしました。就任から四ヶ月が経過し、この間、自治区長連合会や自治区によるコミュニケーション活動を拝見させていただきましたが、下妻市の持つ地域力の高さを実感いたしました。これらもひとえに、日頃からの区長並びに自治区の皆様のご尽力の賜物であると、心より感謝申し上げます。

さて、地域を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化により、様々な課題が生じておりますが、これらの課題解決のためにも、市民や各種団体・企業等と行政が、それぞれの立場を尊重しながら得意分野を活かした協働の取り組みを進め、下妻市の地域力をさらに高めていくことが求められていると思えます。私も微力ではございますが、これまでの経験を活かし、市長の補佐役として、市民の皆様と力を合わせて、下妻市の発展に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

菊池市長のもと「市民が主役のまちづくり」「元氣な下妻づくり」「子育て・教育環境の向上と高齢者・障害者にやさしい地域づくり」「安全で安心なまちづくり」「行財政改革の推進」の五つの基本方針の実現に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（略歴等）
昭和五十六年茨城県庁に入庁。牛久市副市長、茨城県理事兼政策審議監、茨城県県民生活環境部長などを歴任。なお、副市長の任期は令和五年三月三十一日までの四年間です。

自治区連会報

第53号
編集発行人
下妻市自治区長連合会
広報編集委員会

下妻市自治区長 永年勤続者表彰

4月17日、市役所第二庁舎において、永年勤続者表彰式が開催され、12名の方が菊池市長より表彰状を授与されました。おめでとうございます。

○表彰者（5年以上勤続されている方）
※順不同・敬称略

- 吉川 寛通（長塚西部代表区長）
- 故石川 節（前 長塚東部代表区長）
- 番澤 幸治（陣屋南自治区長）
- 中山 吉平（新町南1自治区長）
- 黒澤 力一（新町北1自治区長）
- 吉川 澄（長塚7自治区長）
- 栗野 新也（福代地・神明代表区長）
- 中山 勝美（数須・筑波島代表区長）
- 飯村 省一（黒駒代表区長）
- 草間 陸夫（新堀代表区長）
- 飯岡 勝美（柳原代表区長）
- 飯塚 祐司（前 本田東自治区長）

茨城県自治会連合会総会・表彰

5月24日、ひたちなか市において、茨城県自治会連合会第27回総会が開催されました。その中で、次の方が県自連会長から表彰状を授与されました。おめでとうございます。

○表彰者 ※敬称略
（各市町村区長会等の正副会長で
区長在職10年以上）

野部 明紀
（下妻市自治区長連合会 前 副会長・
前 平川戸自治区長10年）



自治会活動に参加しましょう！

自治区長連合会全体研修に参加して

西町代表区長 柴 森 孝 夫

五月、自治区長連合会全体研修に参加しました。山梨、静岡方面三ヶ所の研修予定で、朝八時三十分に出発、最初に訪れた富士山世界遺産センターは、富士山を訪れる多くの訪問者に対し、富士山の顕著な普遍的価値に関する情報発信や保存管理の中心的な役割を担う為建てられたそうです。新幹線並のスピード(五分)で頂上まで行ける疑似登山体験ビデオや、富士山を三六〇度、全方位から見られる、和紙で造られた巨大オブジェ「富嶽三六〇」など、富士山の自然や文化、歴史を知ることが出来ました。



柿田川公園で熱心に説明を聞く参加者

次に訪問したのは、静岡県清水町国指定天然記念物「柿田川」沿いにある公園でした。富士山に降った雨や雪が数十年の旅を経て、あちこちから昏々と湧き出ており、水が澄んで綺麗な自然が残された所でした。湧水量は、日に七十万トン〜百万トンと豊富で、自然の素晴らしさを学ぶ場、自然を守る心を養う場として「自然保護、保全」に努力している町です。

二日目は、沼津港大型展望水門「びゅうお」を視察、ここは東海沖地震の津波を想定し、港の背後地五〇ヘクタール、九千人を守る目的で造られ、津波をシャットアウトする扉体は、幅四十メートル、高さ九・三メートル、重量四百六トンと日本最大級で、ここに展望施設を併設し、今では沼津の観光スポットになっています。下妻では、津波の心配はなくても、自然災害に見舞われる可能性は捨てられません。車内研修で受けた「自主防災組織をつくりましょう」というテーマがありました。やはり平日頃から防災意識を高め活動して行かなければと思っています。



「びゅうお」からの眺め

安産の観音様 - 豊加美支部 -

肘谷地区、順貴山西照院には市内最古の仏像である県指定文化財「木造観世音菩薩立像」(通称:まめいり観音)が安置されています。

そのお姿は等身大の像であり、特に分娩の苦を除くとされ、観音様発見の様子やご利益などの話が「肘谷豆熬観世音御和讃」という讃歌にされ、代々謡い継がれています。

「^{きんぎょうちうらいかんげおん}帰命頂禮観世音(略)寛文10年戌の春 人家離れし沼の中 龍燈頻りに立ち昇る(略)是を念ずる女人には 如何程重き難産も 悩ますまいとの御誓願 あらありがたや観世音 - ぜひ、お参りに来て下さい。 ※寛文10年=今から349年前



大型展望水門「びゅうお」

自主防災組織を作りましょう！

大宝支部長・連合会副会長に就任して 大宝地区の今昔物語

下木戸第一代表区長 栗原三郎

この度、自治区長・代表区長含めて数年の私が大宝支部長および連合会副会長を拝命し、緊張しております。宜しくご指導をお願い致します。

大宝、いや本市には、関東に名を馳せ、明治時代に国指定を受けた大宝八幡宮があります。この文化財を守るため、毎年一月二十六日前後に消防団の協力を得て、防災訓練を実施しています。昭和二十四年一月二十六日に法隆寺金堂から失火罹災したことから、この日となりました。この時期は特に火災の多いときでもあるので、毎年この日を「文化財防火デー」と定められたものです。

福田・比毛間を流れ、市内第三位の流路延長七・七キロある糸線川は、私が子供の頃時々氾濫し、大宝駅西の広大な水田は水に浸りましたが、比毛の排水機場完成を機に、なくなりました。

ところで、市史によると「糸線川のかっぱ」という箇所があります。「今の糸線川が毛野川といわれた昔の話。川沿いの村に右近という若者がいた。ある晩、右近は土橋の上で美女に出会った。右近は一目でその

娘に心を惹かれ、親に打ち明け、一緒にになりたいと頼んだが許されなかった。右近は諦めきれず強引に一緒になった。しかし器量よしで、働き者で気立てのやさしい娘だったので、反対していた親も、嫁自慢をするまじつだけ悪いくせがあった。それは毎日夜中になると、どこかへ出かけることであつた。右近は不審に思つて、ある夜後をつけて行つた。土橋の上



常総線乗客に安らぎを与えている糸線川

まで来ると、嫁の姿がすうつと消えて見えなくなつた。次の日右近は嫁に気付かれないように、着物の裾に糸を結んでおいた。何も知らない嫁はいつものように夜中に抜け出した。後をつけた右近はまた土橋の上で姿を見失つたが、糸を手繰つて行つた。するとその糸は毛野川の洞穴の中に続いていた。足音を忍ばせ、その洞穴を覗いた右近は驚いた。嫁はいつものまにか、かっぱの姿になり子供に



常時文化財を見守っている屋外消火栓設備（放水銃）

桜塚と云う地名の由来

— 高道祖支部 —

百年以上前にたった二軒から始まった桜塚の中程に稲荷神社が二社有り、その昔、郵便局の三代前の局長が伏見稲荷神社より神をもらい受けて、現在の場所に祭り、樵の安全を見守ってくれたそうです。参道の両側は桜の花が咲き、桜塚の地名の由来になったそうです。現在は、桜は皆無で残念ですが、近くにはSMC棟や大型倉庫が立ちならび賑わっています。自治会も四十二軒ですが、未加入軒数も二十数軒近く有り、今後の課題となっています。



乳を飲ませていた。右近が妻にした女は、実は毛野川に住むかっぱが化けたものだった。このことから毛野川を糸線川とよぶようになったという。」とあります。

自治会活動に参加しましょう！

新しい公民館できました！

下田・貝越代表区長 島田陽一



新しくなった公民館の様子



貝越地区の新公民館は、平成三十年十月に完成しました。旧公民館は、某家を移築した建物で、すでに築四十年以上経っており、畳やテーブル等も古く汚れ、トイレは旧式なうえ、床も腐食、老朽化していました。このため、女性や子供に敬遠されがちで、使用頻度も少なくなっていました。こうした状況と近隣の新築された公民館を見るにつけ、「公民館を建てよう」との気運が徐々に高まってきました。そこで、常会を開き、

建て替えることを決定しました。公民館建て替え準備委員会も立ち上げられ、前区長の五十嵐さんを中心に年に数回集まり、建築資金、建築業者、建坪、設備等を検討、常会にて承認されました。資金については、平成二十五年から五年間の各戸積立金と、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ支援事業（宝くじ助成）にて調達することができました。

新公民館の建坪は三十・五坪、男女別トイレを配置し、エアコン、テレビ、冷蔵庫、給湯室等を備えた快適な公民館となりました。そして、平成三十年十一月十八日には、菊池市長をお招きして、全世帯の希望者全員が参加した竣工式を賑やかに行いました。

公民館は常会、新年会に限らず、若手の方が参加する「アグリックス会」、中高年者の「暁会」、シニア層が集う懇親会等、年間を通して利用されていくことでしょう。今年七月には、新築後初めての夏祭り納涼祭も行われました。今後も集落の皆様で有意義に活用したいと思えます。

代表区長に就任して

中居指代表区長 野村操



増水して住宅地に迫る鬼怒川の濁流



降雨後の西部地区道路冠水の様子

中居指地区は、東部、南部、西部の三地区から成り、自治会には全戸数の約九十八パーセントに当たる八十六戸が加入しています。それぞれの地区ごとに一名ずつ、三名の区長にて自治会の運営に当たっています。当集落は、すぐ西側を鬼怒川が流れていますが、堤防がありません。平成二十七年九月の関東東北豪雨の時には、住宅の塀の基礎のところまで水が迫り、避難指示も出て、大変怖い思いをしました。

その後、鬼怒川緊急対策プロジェクトによって堤防ができることになり、用地の収用も完了して、早ければこの秋にも着工の見通しとなりました。また、築堤によって、降雨の際に生じる内水を排水する樋管が設けられることになりました。長年の懸案であった西部地区の道路側溝の設置が、これまでの区長たちと、国土交通省、市建設課との話し合いによって樋管に接続することが可能になり、やっと実現できる運びとなりました。降雨時に、道路の雨水が住宅地に流れ込んだり、冠水してしばらく水が引かないと云うようなことも解消できるものと期待しています。

今回の対策事業では、集落南端の砂山と言われる所が整備されません。名前のとおり砂地です。住民として、不安です。これも整備され、安心して暮らせるように、今後とも活動してまいります。

自主防災組織を作りましょう！

地区の環境整備…試みとして

黒駒代表区長(黒駒ふるさとクラブ事務局) 飯村省一

上妻地区でも木障(こさ)刈りが定期的に行われている自治区は少なくなっています。黒駒自治区では、不動尊、神社敷地や川岸地区の草刈りを毎年七月に地区住民総出で行っています。しかし、地区内の利用の少ない市道や耕作放棄地が未整備のまま生活環境上問題になりつつあり、年間行事とは別に地区の整備を適宜行つてはということ、有志に



2~3mもある篠藪刈り



きれいに整備された現場を眺めながら休憩

よる「黒駒ふるさとクラブ」という環境整備のボランティア団体が三年前に結成されました。以下、会の活動内容等を紹介の方々書いてみます。
会員数十四名、内十三名が六十歳以上のシニア世代男子で、現在の活動対象のエリアは、地区の不動尊や神社のほか、小学校に隣接した耕作放棄地の篠藪(野犬の隠れ場所になる恐れ)、市指定の史跡、地区内の安全に通行出来ない市道が主なもので、月一回午前中半日を活動に当てていま

す。会の結成から間もなく三年、時に二、三mもある篠藪刈りなどでは悪戦苦闘した事もありましたが、現在はハードな作業にも慣れ、皆生き生きと活動を続けています。普段は滅多に顔を合わせる事のないメンバー同士が休憩時間に楽しく談笑し、また、作業できれいに整備された現場を眺めることは、得難い快感でもあります。シルバー世代の社会貢献と新しい仲間作りの機会にもなる地区の環境整備という活動を、今後も継続的に続けていければと考えています。

淡島神社祭礼 - 千代川支部 -



今私達が住んで居る所は、昔は下総乃国豊田郡大園木村と呼ばれ現在に至っております。集落の途中に「別當福寿院」があり、今は淡島神社と呼ばれ淡島大明神が祀られており、毎年旧暦九月十三日に祭りが行なわれます。私達が子供の頃は、境内に露店商も出て賑やかな祭りでもありました。地域住民の五穀豊穰・無病息災・女の神様又子宝の神様とも呼ばれ、近隣では知られております。御夫婦が何年も子供が出来ない場合には、お参りに来てお人形さんを借りて行き、一緒に寝て居ると、何年か後にはやっかみ子といって子供が授かると言い伝えられております。



黒駒ふるさとクラブの皆さん

自治会活動に参加しましょう！

令和元年度 自治区長連合会理事名簿

Table with 4 columns: 役職名, 氏名, 代表区, 支部名. Lists council members and their respective districts and branches.

※幹事以下の役職は「地区順」「各支部からの選出名簿順」となっています。

活動日誌

- ◆平成31年 ◆令和元年
1月25日 自治区連会報(第52号)発行
1月26日 市長との対話集会(下妻中学校区)
2月1日 市長との対話集会(千代川中学校区)
2月7日 県自治会連合会情報交換会参加(常陸太田市)
2月9日 市長との対話集会(東部中学校区)
2月20日 正副会長会議
3月9日 小貝川ふれあい公園花畑除草作業
3月22日 役員会・理事会
4月11日 支部長会議
4月13日 小貝川ふれあい公園花畑除草作業
4月17日 永年勤続者表彰式・自治区長連合会総会
11月 県自治会連合会県知事との懇談会 ※予定
11月 ※予定
10月 小貝川ふれあい公園花畑種まき作業 ※予定
10月 正副会長会議・役員会・広報編集委員会
10月13日 市長との対話集会(下妻中学校区) ※予定
10月10日 市長との対話集会(千代川中学校区) ※予定
10月3日~4日 本部役員研修 ※予定
8月25日 自治区連会報(第53号)発行
8月7日 理事会
7月31日 正副会長会議
7月11日 支部長会議
6月20日 正副会長会議・役員会・広報編集委員会
5月24日 県自治会連合会理事会・総会
5月22日~23日 全体研修(山梨県・静岡県)

編集後記

今年十二月は、市議会議員の改選を迎えます。市財政は、人口が減少し続ける中、地方交付税の削減と少子高齢化時代への突入で、大変厳しい状況下におかれているようです。このような中でも、市議会議員の定数削減は、残念ながら噂にも聞こえてきません。そこで、県内の人口と議員定数を調査した結果が、下表のとおりとなります。

Table with 4 columns: 市町, 人口(平成31.3.1現在)人, 議員定数, 人口/議員数. Lists population and council member numbers for various municipalities.

議員定数削減については、自治区長連合会が平成十八年に陳情書を提出したところ、当初は不採択となりました。その後、議会側との折衝を繰り返すとともに、議員定数削減の署名運動にまで活動が発展し、現在の定数二十人となりました。現時、数人の議員は、いつでも十八人にする用意があると明言していましたが、残念ながら今のところ何の動きもありませんので、今回のご紹介としました。議員定数削減の陳情書については、八月に提出を検討しています。



自主防災組織を作りましょう!